

揚工舎(6576)

2019/3 通期は前期比 47.7%の増益、積極的な M&A による事業拡大に取り組む方針

TOKYO PRO Market | ヘルスケア施設 | 業績フォロー

BLOOMBERG 6576:JP | REUTERS 6576.T

- 2019/3通期は、売上高が前期比9.2%増の17.60億円、営業利益が同29.9%増の1.04億円、経常利益が同45.8%増の9,393万円、当期利益が同47.7%増の7,083万円となった。
- 「ヨウコーキャッスル巣鴨」および「ヨウコーフォレスト竹の塚」が堅調に推移。「ヨウコーフォレスト西馬込」の収益貢献開始や2018/7の買収、2018/11の事業譲受なども寄与し増収増益となった。
- 積極的なM&Aによる事業拡大に取り組む方針。5/10に介護付有料老人ホームを運営している光風苑を取得。また、アカネケアコンサルタントから有料老人ホーム事業を譲り受ける事業譲渡契約を締結した。

What is the news?

2019/3通期は、売上高が前期比9.2%増の17.60億円、営業利益が同29.9%増の1.04億円、経常利益が同45.8%増の9,393万円、当期利益が同47.7%増の7,083万円。「ヨウコーキャッスル巣鴨」、「ヨウコーフォレスト竹の塚」が堅調に推移。2018/7より「ヨウコーフォレスト西馬込」の収益貢献が始まったことや2018/7のピーアードエイ（現ヨウコーほっとスタッフ）の取得、2018/11にビーワンコーポレーションから人材紹介および人材派遣事業を譲受したことなども寄与し増収増益となった。

セグメント別の業績は以下の通り。①デイサービス事業は、売上高が前期比3.0%増の5.26億円、セグメント利益が同9.4%減の1.09億円。事業所の撤退があったものの利用者の合計延べ利用回数が伸び増収を確保。②有料老人ホーム事業は、売上高が同5.5%増の9.53億円、セグメント利益が同37.7%増の9,380万円。「ヨウコーフォレスト西馬込」の実績が上乘せされたほか、「ヨウコーキャッスル巣鴨」および「ヨウコーフォレスト竹の塚」で入居率が改善。③在宅サービス事業は、売上高が同9.5%増の2.01億円、セグメント利益が同4.5%増の7,427万円。④教育・紹介派遣事業は、売上高が同5.8倍の7,940万円、セグメント利益が491万円と前期の▲642万円から黒字転換。買収や事業譲受により業績が拡大した。

How do we view this?

サービスクオリティの向上により各事業所・各施設の稼働率・入居率を高めるほか、精緻な経費管理により事業拡大・収益力強化に取り組む。積極的なM&Aによる事業拡大も行う方針で、5/10には南房総・館山で介護付有料老人ホームを運営する光風苑を取得。同日、アカネケアコンサルタントから有料老人ホーム事業を譲り受ける事業譲渡契約も締結した。2020/3通期会社計画は、売上高が同12.9%増の19.87億円、営業利益が同2.0%減の1.02億円、経常利益が同4.0%減の9,000万円、当期利益は同10.4%減の6,300万円。一時的な取得費用により、増収減益の見込み。

業績推移

事業年度	2017/3	2018/3	2019/3	2020/3F
売上高(千円)	1,501,843	1,611,948	1,760,369	1,987,000
経常利益(千円)	59,528	64,431	93,931	90,000
当期純利益(千円)	70,289	47,963	70,835	63,000
EPS(円)	100.41	68.52	101.19	90.70
PER(倍)	6.37	9.34	6.32	7.06
BPS(円)	250.04	320.53	422.19	-
PBR(倍)	2.56	2.00	1.52	-
配当(円)	-	-	-	-
配当利回り(%)	-	-	-	-

(※)2018/2/17付で普通株式1株につき1,000株の株式分割を実施したが、2017/3期の期首に当該株式分割が行われたと仮定してEPS、BPS、1株あたり配当を算定している。(出所:会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=会社予想)

配当予想(円) - (会社予想)
株価(円) 640 2019/7/2(基準値)

会社概要

2003年に介護事業を目的に設立された。「感動空間」の創造をテーマにデイサービス事業、有料老人ホーム事業、在宅サービス事業、教育・紹介派遣事業を展開している。2018/4/24にTOKYO PRO Marketに上場した。デイサービス事業は、「リハビリほっとステーション ヨウコー」のブランド名も、都内11事業所でデイサービスを展開している。有料老人ホーム事業は、2010年に事業譲受により介護付有料老人ホーム「ヨウコーキャッスル」(現「ヨウコーキャッスル巣鴨」)を取得したことを契機に開始された。現在では、首都圏において有料老人ホーム6施設を展開し、同社独自の考えである「生活リハビリ」(歩く、椅子から立つなど日常生活における動きの中で、身体を使う際のポイントを指導し、機能回復につなげていくという考え)や、提携病院との協力体制によって、入居者へのケアサービスを提供する。在宅サービス事業は、都内1カ所のケアステーションおよび住宅型有料老人ホーム2カ所の施設内に設置された訪問介護事業所において、訪問介護サービス、居宅介護支援サービスのほか、福祉用具貸与・販売、住宅改修等のサービスを提供している。教育・紹介派遣事業は、介護サービス人材養成および同社の人材確保を目的に介護における心得や技術を教える講座を提供するほか、人材紹介および人材派遣も行っている。

企業データ



主要株主(2019/3/31) (%)
1.伊藤 進 91.29
2.塚本 登志江 8.71
(出所:会社公表資料をもとにフィリップ証券作成)

アナリスト

増淵 透吾

togo.masubuchi@phillip.co.jp
+81 3 3666 0707

笹木和弘

kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp
+81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: フィリップ証券 リサーチ部

公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員補 増淵透吾

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

＜日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則(平14.1.25)」に基づく告知事項＞

1. 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。
2. 当社は、東京証券取引所の定める「特定上場有価証券に関する上場規程の特例」(以下「特例」)第102条の規定に基づき、発行会社の担当J-Adviserに就任する旨の契約を締結いたしております。また、当社は、「特例」第135条に定める流動性プロバイダーであり、発行会社株式の円滑な流通の確保に努めるほか、流動性プロバイダーとしての義務を負っております。